

# 名古屋市災害廃棄物仮置場 設置・運営訓練

日 時 令和7年10月21日(火)9:00~12:00  
場 所 牧野ヶ池緑地芝生広場  
参 加 者 名古屋支部22名

名古屋支部(永井弘児支部長)は、牧野ヶ池緑地芝生広場にて、名古屋市とともに4回目となる災害廃棄物仮置場設置・運営訓練を実施しました。また名古屋港として協力できる点を検討したいとの意向から、名古屋港管理組合総務部危機管理課の橋場隆志課長補佐にもご参加いただきました。

訓練に先立ち名古屋市環境局施設部 坂部泰理部長より「公園での訓練は初めてになりますが、いざという時のための連携力を高めるために今回は地域の方にもご参加いただけます。」とあいさつをいただき、永井支部長の「災害時には初動が大切です。4回目ということもあり、本番に近いイメージで実施して問題点をあぶり出したいと思います。」というあいさつで開会式を終え、訓練を開始しました。

災害廃棄物の受付後、積載車両が案内に従って移動しました。14品目の看板が設置された指定の荷降ろし場で搬入物を降ろす流れを確認するなど、実際の災害廃棄物仮置場の運用を想定した訓練が繰り返し行われました。



名古屋市環境局施設部  
坂部泰理部長



永井弘児支部長



本年度は、仮置場とはどのようなものなのか、どのように運用されるのか知ってもらうために、地域の皆さまにもご参加いただきました。地域の皆さまが、搬入車両に同乗し、名古屋市職員とともに受付から搬入物の降ろし作業までを体験していただきました。

スムーズかつ的確に訓練が終了し、閉会式で名古屋市環境局事業部 太田勝雄部長から「愛知県産業資源循環協会の協力を感謝いたします。大きな災害はいつ発生するか分かりません。今回は仮置場設置を考えるきっかけになればということで、市民の方にもご参加いただきました。」とごあいさつをいただき、愛産協の災害廃棄物処理対策特別委員会 山本浩也委員長より「民家が近く狭い場所でのシミュレーションができたこと、トランシーバーが使えたこと、そしてファストレーンの有効活用ができたことが良かったです。今回のような訓練を通して、行政、市民、愛産協で顔の見える関係を作ることが大切だと思います。」と総括いただき訓練は終了となりました。



名古屋市環境局事業部  
太田勝雄部長



愛産協災害廃棄物処理対策  
特別委員会  
山本浩也委員長



訓練の様子



集合写真

## 14品目

木くず / その他の燃えるもの / タイヤ / コンクリートがら  
陶磁器くず・瓦 / ガラスくず / 土砂 / 金属くず / リサイクル家電 / その他家電 / 布団 / マットレス / ソファ / 畳